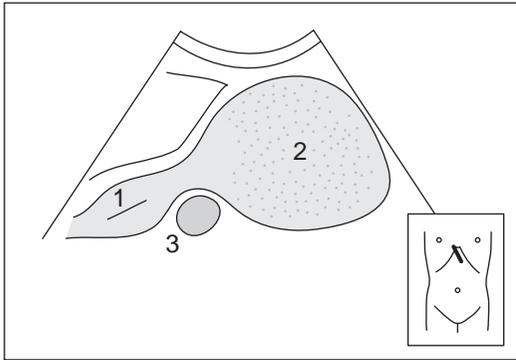


E 胃腸疾患のチェックポイント

- ・食道，胃，小腸，大腸の超音波検査から得られる主な疾患のチェックポイントを番号順に示す．



1. 腹部食道癌

中心部に高輝度エコーを伴い肥厚した食道壁が低エコー像を示す．

- ・この像は腎と類似像を示すことからpseudo-kidney signともいわれる．

2. 胃拡張

胃が機能失調になっている場合，拡張した胃の内部には大量の内容物またはガス像がみられる．

- ・食後や飲水後またはバリウム検査後の像も類似像を示す．
- ・拡張した胃を十二指腸側へ追求し，限局性の壁肥厚に注目する．
- ・ウイルス性腸炎や上腸間膜動脈(SMA)症候群，胆道系疾患も念頭におく．
- ・著明に拡張した胃の内容物が，微細エコーを示し，肝と類似像を示すことがある．

3. 胃粘膜下腫瘍

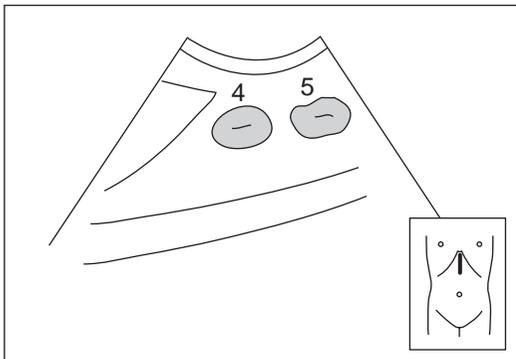
胃の壁外に接し円形の低エコー像を示す．

- ・多くが良性腫瘍であるが，30mmを超えるものについては平滑筋肉腫も念頭に検査に当たる．

4. 急性胃炎・胃癌

中心部に高輝度エコーを伴い肥厚した胃，腸壁がpseudo-kidney signを示す．

- ・胃壁の肥厚を伴う疾患には胃潰瘍，急性胃粘膜病変acute gastric mucosal lesion (AGML)，胃アニサキス症，胃癌，胃悪性リンパ腫がある．
- ・食物残渣や腹水を伴った胃，腸壁の読みに注意する．
- ・胃アニサキス症では腹水を伴うが，胃癌でも腹水を伴うときがある．



5. 大腸癌・悪性リンパ腫

結腸壁が肥厚しpseudo-kidney signを示す．

- ・悪性リンパ腫では壁肥厚がさらに増し，エコーレベルの低下が著明になる．